

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	トイロ大津		
○保護者評価実施期間	2025年12月19日		～ 2026年 1月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2025年 11月1日		～ 2025年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援を行うスペースの環境づくり。	通所する児童の特性に合わせ、机やおもちゃの配置を行ったり、1日の流れを張り出すなどして視覚掲示を行い、落ち着いて行動できるような環境づくりを目指している。	変化する児童の様子を、保護者様等に伺いながら、都度適した環境に変化させていく。
2	通所する児童が楽しんでもらえるイベントを実施している。	児童の発達を支援するための定期的なイベントと、楽しんでもらうイベントを織り交ぜた1か月ごとのスケジュールを作成している。	通所する児童ご本人が見通しをしやすいことや、ご家族様のスケジュール調整を行いやすくすることを目的として、イベント表の公表をご家族が利用申込ができるタイミングに合わせて行えるように作成を早める。
3	避難訓練を定期的実施し、実際に避難警報が出されたときに避難ができたこと。	月に1度火災や津波を想定した避難訓練を実施している。2025年の支援時間中に津波による避難警報が発令し、実際に近くの避難場所に避難することができた。	今後も継続して避難訓練を実施し、実際に避難する必要ができたときに訓練と同様の動きができるように努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者が参加できるイベントは実施しているが、保護者同士の交流やペアトレーニングが受けられる機会が実施できていない。	求められているペアトレーニングが実施できるスタッフが少なかったこと、保護者会を開催することより参加型のイベントを優先して企画していたこと。	ご家族の保護者会に関するご意向を確認しつつ、事業所内で保護者同士の交流やペアトレーニングが実施することができる機会を計画、実施していく。
2	地域内でのイベント、交流の機会が少ないこと。	児童の特性やそれによる安全性の確保のため、地域交流の機会を設定できなかった。	引き続き児童の特性等を考慮しながら、地域のイベント等に参加できる機会を計画していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 トイロ大津

公表日 2026年3月10日

利用児童数 42

回収数 32

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29			3	・何も広い空間があるのが良いと思う。	引き続き、通所する児童の特性に合わせた環境整備を行ってまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	29			3		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	5		7	・流れや約束事などが目で見てわかるように張り出されており、本人がよく理解できるようです。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	1		4		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	3	1		・特性・得意なこと、苦手なことを理解し、様子に合わせて関わっている。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	1		3		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	2	1		・本人の様子を見たり、聞き取りをしっかりしたうえで作成してくださっていると思う。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	1	1			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	1	1			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32				・毎回違う内容のイベントがある。 ・外出、食育、工作など色々なことに取り組んでいると思う。	安全に、皆様に喜んでいただけるようなイベントができるよう、企画を行わせて頂きます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	4	12	10		アンケートを踏まえ、児童の負担や安全に配慮しつつ、地域の中で活動できる機会について検討していきます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	2				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	2		2		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	5	8	7		後述する保護者会（仮）等で実施できる機会を計画してまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	30	2			・申し送り時やHUGでの連絡の様子わかり助かる。こちらからも伝えられるのでありがたい。 ・ペアトレーニングがあると良い。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	2		1	・困りごとがあった時にサポートして頂き助かりました。 ・助言ではなく、マイナスな印象を持つ報告を受けた。	お声を受け止め、困りごとに寄り添った支援や助言となるよう、伝え方や内容の見直しを行ってまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	4				
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	2	11	12	・イベントにより、保護者同士の交流の機会があったが、家族支援の機会はないと感じる。保護者会等もあつたら参加したい。 ・参観日のようなイベントがあつたらと思う。	今回のご意見をもとに、保護者会（仮）の開催を予定しております。今後アンケート等をとりながら、事業所内で求められる支援等の機会を提供できることを目指します。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	2		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	5		1	・個別に連絡帳ノートを作って頂いている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	31	1			・もっと早く次月の予定（イベント）を知らせて頂けると助かります。	今後、次月の利用予約開始と同時期にイベント表を公表できるよう早めさせていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	3		5	・定期的に避難訓練をしていると思う。	今年度は実際に津波警報が出され、支援時間中に避難をすることがありました。継続して避難訓練を実施していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30	2				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	2		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	2		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30	2			・毎回楽しみに通っている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	30	2			・安心して過ごせていると思う。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	31		1		・通ってよかったと日々感じています。いつもありがとうございます。 ・季節のイベントやかわいい制作、調理イベントなど考えてくださりうれしいです。	ありがとうございます。引き続き児童たちが楽しく通っていただける事業所作りを目指して参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		トイロ大津		公表日 2026年3月10日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	2	遊びに応じて使用する場所を決めている。	クールダウンできる個室のスペースは難しいが、教室内には必要最低限のもののみ配置しスペースの確保に努めている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	1	おもちゃの写真やトイレのマークを壁に貼り、言葉で説明できない児童でも訴えられるようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	1	教室内には必要最低限のもののみ配置し、児童の妨げにならないようにしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	2		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	13	1		支援について振り返る機会を増やしたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	4		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	10		必要があれば行いたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	6		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	2		通所する児童の特性に合わせ、机やおもちゃの配置を行ったり、1日の流れを張り出すなどして視覚掲示を行い、落ち着いて行動できるような環境づくりを目指している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	2		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	0	記録や申し送りで確認ができています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	3		家族支援、地域支援についても今後行っていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	0		

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	0	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	14	0	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	0	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	0	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	0	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	0	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	14	0	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	3	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	2	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	5	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	14	0	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	9	機会があれば積極的に共有していきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	13	直近で事例がないが、機会があれば情報共有を行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	11	これからSVの方が巡回予定です
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	11	他のトイロと合同にてイベントを実施した。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	13	機会があれば参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	1	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	8	今後家族会を含め、計画を行っていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	3	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	2	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	14	0	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	8	夏祭りイベントを実施した。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14	0	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	9	安全面などを考慮しながら、機会があれば交流を行っていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	3	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	0	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	0	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	1	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	0	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	2	実際に避難警報が発令され、避難所に避難した。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	0	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	0	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14	0		